

(様式2の1)

# 教育研究業績書

(西暦) 年 月 日

氏名 ㊟

研究分野	研究内容のキーワード

## 教育上の能力に関する事項

事項	年月日	概要
1 教育改善活動1 1. ○○○○○○○○○○○○  2. △△△△△△  3. □□□□□□	20**年**月 (平成**年)  年 月 (平成**年)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○した。  △△△△△△△△した。
2 教育改善活動2 1. ○○○○○○○○○○○○	20**年**月 (平成**年)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○した。
3 作成した教科書、教材 1. ○○○○○○○○○○○○	20**年**月 (平成**年)	○○○○年生対象。 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
4 教育上の能力に関する自己点検・評価 1. ○○○○○○○○○○○○	20**年**月 (平成**年)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○
5 教育活動におけるその他の事項 1. ○○○○○○○○○○○○	20**年**月 (平成**年)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○

(注) 記入に際しては、末尾の「『教育研究業績書』の記入にあたって」をご参照ください。 神戸松蔭女子学院大学

(様式2の1)

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許 1. ○○○○○○○○○○○○	20**年**月 (平成**年)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○
2 特許等 1. ○○○○○○○○○○○○	20**年**月 (平成**年)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○
3 実務の経験を有する者についての特記事項 1. ○○○○○○○○○○○○	20**年**月 (平成**年)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○
4 その他 1. ○○○○○○○○○○○○	20**年**月 (平成**年)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○

(氏名： )

(注) 記入に際しては、末尾の「『教育研究業績書』の記入にあたって」をご参照ください。 神戸松蔭女子学院大学

(様式2の1)

学 科 運 営 等 に 関 す る 事 項		
事 項	年 月 日	概 要
1. ○○○○○○○○○○○○	20**年**月 (平成**年)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○
社 会 貢 献 等 に 関 す る 事 項		
事 項	年 月 日	概 要
1. ○○○○○○○○○○○○	20**年**月 (平成**年)	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○

(氏名 : )

(注) 記入に際しては、末尾の「『教育研究業績書』の記入にあたって」をご参照ください。 神戸松蔭女子学院大学

(様式2の2) その1:学術著書

研究業績等に関する事項				
学術著書の名称	単著・共著の別	発行または発表年月	発行所、発表雑誌等または発表学会等の名称	概要 (200字程度)
(学術著書) 1. 書名	共著	20**年**月 (平成**年)	発行所	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○ 著者：○○○○、○○○○○、… 担当部分：p**~p** ○○○○○  教職課程科目担当予定者は、業績 に対応する「担当科目名」
2. 書名	共著	20**年**月 (平成**年)	発行所	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○ 著者：○○○○、○○○○○、… 担当部分：p**~p** ○○○○○  教職課程科目担当予定者は、業績 に対応する「担当科目名」
3. 書名	共著	20**年**月 (平成**年)	発行所	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○ 著者：○○○○、○○○○○、… 担当部分：p**~p** ○○○○○  教職課程科目担当予定者は、業績 に対応する「担当科目名」

(氏名： )

(注) 記入に際しては、末尾の「『教育研究業績書』の記入にあたって」をご参照ください。

「学術著書」「学術論文」「その他」は、発表順にご記入ください。

(様式2の2) その2 : 学術論文

研究業績等に関する事項				
学術論文の名称	単著・共著の別	発行または発表年月	発行所、発表雑誌等または発表学会等の名称	概要 (200字程度)
(学術論文) 1. 論文題名 (修士・博士論文)	単著	20**年**月 (平成**年)	発表雑誌等の名称 ○巻○号 p**~p**	○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○  教職課程科目担当予定者は、業績 に対応する「担当科目名」
2. 論文題名 (査読付)	共著	20**年**月 (平成**年)	発表雑誌等の名称 ○巻○号 p**~p**	○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○ 著者：○○○○、○○○○、… 担当部分：○○○○○  教職課程科目担当予定者は、業績 に対応する「担当科目名」
3. 論文題名	共著	20**年**月 (平成**年)	発表雑誌等の名称 ○巻○号 p**~p**	○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○ 著者：○○○○、○○○○、… 担当部分：研究全般  教職課程科目担当予定者は、業績 に対応する「担当科目名」

(氏名： )

(注) 記入に際しては、末尾の「『教育研究業績書』の記入にあたって」をご参照ください。

「学術著書」「学術論文」「その他」は、発表順にご記入ください。

(様式2の2) その3 : その他

研究業績等に関する事項				
その他の名称	単著・共著の別	発行または発表年月	発行所、発表雑誌等または発表学会等の名称	概要 (200字程度)
(その他) 1. 〈翻訳・翻刻等〉 タイトル	単著	20**年**月 (平成**年)	発行所等	○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○
2. 〈研究発表〉 発表テーマ	共	20**年**月 (平成**年)	学会大会名、発表場所 等	○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○
3. 〈その他〉 ○○○○○○○	共	20**年**月 (平成**年)	○○○○○○○○○	○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○

(氏名 : )

(注) 記入に際しては、末尾の「『教育研究業績書』の記入にあたって」をご参照ください。

「学術著書」「学術論文」「その他」は、発表順にご記入ください。

(様式2の3)

科学研究費補助金等競争的資金の獲得状況			
研究課題名 (研究課題番号)	代表・分担の別	獲得期間	資金元、資金名、種目等
1. ○○○○○○○○○○に関する研究 (*****)	代表	20**年	日本学術振興会、科学研究費補助金、 基盤研究B
2. ○○○○○○○○○○○○の解明 (*****)	代表	20**年～ 20**年	○○○○○○○○○○
3. ○○○○○○○○○○○○○○の研究 (*****)	分担 (代表：○○○○)	20**年	○○○○○○○○○○

(氏名： )

(注) 記入に際しては、末尾の「『教育研究業績書』の記入にあたって」をご参照ください。  
競争的資金を獲得した研究課題名を、時系列的にご記入ください。

## 「教育研究業績書」の記入にあたって

教育上の能力に関する事項、職務上の実績に関する事項、学科運営等に関する事項、社会貢献等に関する事項（様式2の1）および主要な学術著書、学術論文等の業績（様式2の2）について作成してください。

### ◆ 様式2の1の記入に際しての留意点等

#### 1. 「氏名」の欄について

旧姓等の通称名を使用している場合は（ ）書きで本名を併記してください。

#### 2. 「研究分野」および「研究内容のキーワード」の欄について

「研究分野」の欄には、科学研究費補助金の「系・分野・分科・細目表」の分科レベルの名称を用いて、研究分野の主なものを3つ以内で記入してください。「研究内容のキーワード」の欄には、同表の細目を参考に、研究内容を表すキーワードを5つ以内で記入してください。なお、分科レベルに該当がない場合は、適宜記入してください。

#### 3. 「教育上の能力に関する事項」および「職務上の実績に関する事項」、「学科運営等に関する事項」、「社会貢献等に関する事項」の欄について

(1) 「事項」の欄には、各区分に該当する教育上の能力および職務上の実績に関する事項を過去から現在まで簡潔に記入してください。

(2) 「年月」の欄には、当該事項に係る実施時期、発表時期、従事期間等を記入してください。

※年月は、西暦にて記入し、和暦を併記（年のみ）してください。

(3) 「概要」の項には、当該事項に係る内容の概要のほか、当該活動における地位や役割、成果も記入してください。

#### (4) 「教育上の能力に関する事項」の例

##### ア「1 教育改善活動1」について

- 「授業改善・実践事例」の例 授業改善の工夫、マルチメディア機器を活用した授業方法、授業内容のWeb上での公開、英語による授業など  
代表的なものを3例まで記入可能。内容は各例とも500字以内に要約して記載のこと。

##### イ「2 教育改善活動2」について

- 「カリキュラム開発」の例 部局、学科カリキュラム改善への貢献、初年次教育の工夫など
- 「学生の授業外学習促進のための取組」の例 授業外での学生の指導、実習、管理栄養士国家試験の指導、教員採用試験の指導など

##### ウ「3 作成した教科書、教材」について

- 作成した教科書・教材、授業や研修指導等で作成した学術著書、教材等（利用対象者を概要に明記のこと）

##### エ「4 教育上の能力に関する自己点検・評価」について

- 「担当科目の自己点検・評価表」 担当科目の自己点検をもとに記載すること。なお、用いた自己点検・評価表（過去5年間）については、現物を添付すること。
- 「学生による授業評価」「教員同士の相互評価等」 学生による授業評価や教員同士の相互評価等を示しつつ記載すること。なお、授業評価アンケートの結果やFD WEEKでの参観教員からのコメント等を活用してもよい。
- 「その他、教育上の能力に関する評価」 採用時、昇任審査時、学内外の諸機関による評価、TV出演等もあれば記載すること。

##### オ「5 教育活動におけるその他の事項」について

- 大学教育改善に関する活動（FD活動への参加、学内外の研修への積極的参加等）
- 教育実績に対する表彰等
- 教育改善に関する競争的資金（GP、私学助成金等）に関する申請等



(5) 「職務上の実績に関する事項」の例

ア「1 資格、免許」

- 医師、管理栄養士、教員等の資格で研究分野に関連するもの

イ「2 特許等」

- 特許、実用新案等で研究分野に関連するもの

ウ「3 実務の経験を有する者についての特記事項」の例

履歴書の職歴欄に記載した事項を中心に、専門分野や担当する授業科目に対応した下記の事項を参考に記載してください。

①従事した期間

②職務の内容（どのような職務について、どのような役割を果たしたか）

③成果、結果

- 大学との共同研究による研究実績
  - 企業提携・研究開発等の担当実績
  - 学校管理職等としての実績
  - 所属機関等の研究会・ワークショップ等での報告や症例発表（会名・開催場所等を明記する。）
  - 関係機関等において行った講義、講習、職員・関係者等に対する指導
  - 大学から受け入れた実習生等に対する指導歴
  - 海外等における調査研究経験、留学、海外事情調査等
- 上記を裏付ける報告書、手引き書、マニュアル、雑誌等

エ「4 その他」

- 職能団体等からの実務家としての卓越性に関する評価・推薦等
- 論文の引用実績等
- 国家試験問題の作成等

(6) 「学科運営等に関する事項」の例

- 学科運営等に寄与する活動等
- 大学の各種委員会（独立委員会、専門委員会）における活動等

(7) 「社会貢献等に関する事項」の例

- 企業提携・地域連携・研究開発等の専門的な実務に関する教育・研修
- 自治体等の委員会における委員経験等
- 大学の公開講座や社会教育講座における講師、シンポジウムにおける講演等
- 参加した社会的活動の団体の名称、活動内容・期間、当該活動における本人の地位

◆ 様式2の2の記入に際しての留意点等

(1) 「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表のものは記入できません。未発表のものを特に記載する場合は、「掲載予定証明」が必要です。

(2) 「研究業績等に関する事項」において、特に共著として記入する論文についてはオーサーシップの基準を満たすことが必要です。すなわち下記の4つの基準をすべて満たしている場合に、著者として記載できます。

ア 研究の構想・デザイン、データの取得・分析・解釈に実質的に寄与していること

イ 論文の草稿執筆や重要な専門的内容の校閲に携わっていること

ウ 発表 [もしくは発表予定] 原稿の最終版を承認していること

エ 論文の任意の箇所の正確性や誠実さについて疑義が指摘された際、調査が適正に行われ疑義が解決されることを保証するため、研究のあらゆる側面について説明できることに同意していること

※ 「国際医学雑誌編集者委員会 (International Committee of Medical Journal Editors. ICMJE) の投稿統一規程」として、日本学術振興会の「科学の健全な発展のために－誠実な科学者の心得－ (2015年2月)」に引用されているものに準拠しています。

(3) 「学術著書、学術論文等の名称」の欄について

ア 研究等に関連する主要な業績を、「(学術著書)」、「(学術論文)」、「(その他)」の項目に適切に区分し、各業績を発表順に通し番号を付して記入してください。

イ 学術著書については、書名を記入してください。

ウ 学術論文については、国際学術雑誌、学会機関紙、研究報告等に学術論文として発表したものの題名を記入してください。学位論文については、その旨を明記してください。

エ その他については、下表を参照し1行目の〈 〉内に分類名を記入してください。

2行目以降に、総説、学会抄録、依頼原稿等にあつては当該記事のタイトルを、報告発表、座談会、討論等にあつては当該テーマを記入してください。

分類名	分類上の基準
翻訳・翻刻書	専門学術書の翻訳、専門分野の研究対象である著作の翻訳・翻刻。
教科書・参考書	利用対象者を明らかにする。
専門誌等掲載の論文・評論等	専門誌掲載の論文・評論の他、書評、資料紹介、学会情報、解題、研究情報。資(史)料の解題、辞書、事典等の各項目も記述。
研究発表	学会レベルにおける口頭及び要旨発表等。各種学術研究会における口頭及び要旨発表等。(但し、プログラム等記録に残るものに限る)
作品発表	美術・工芸品等の作品発表。(但し、プログラム等記録に残るものに限る)
調査・企画報告等	専門分野における調査・企画報告書、データ集計表等
その他	上記以外の執筆・発表等で、業績としてふさわしいもの。記録に残る専門分野の通説、学術的立場での視聴覚マスメディアへの出演等。

オ 査読付きの論文については、題名の後に「(査読付)」と記載してください。

(4) 「単著・共著」の項には、当該学術著書等に記載された著作者が単独である場合には「単著」、著作者が複数いる場合には「共著」と記入してください。学術著書の場合、監修、編集、編著、共著、部分執筆、寄稿等の関わり方や担当ページ数によっては、「(学術著書)」ではなく、「(学術論文)」「(その他)」の項に記載してください。

(5) 「発行または発表の年月」の項には、当該学術著書等の発行または発表の年月を記入してください。

※年月は、西暦にて記入し、和暦を併記(年のみ)してください。

(6) 「発行所、発表雑誌等または発表学会等の名称」の項について

ア 学術著書については、発行所を記入してください。

イ 学術論文等については、発表雑誌・書籍等の名称、巻・号、掲載ページ等を明記してください。

ウ 報告発表等の場合には、学会大会名、開催場所等を明記してください。

(7) 「概要」の項について

ア 当該学術著書等の概要を200字程度で記入してください。

イ 当該学術著書等が共著の場合には、本人の担当部分の章、節、題名、掲載ページを記入するとともに、本人の氏名(下線を付すこと)を含め著作者全員の氏名(多数にわたる場合は主要な共著者の氏名)を当該学術著書等に記載された順に記入してください。また、オーサーシップの基準を踏まえ、「概要」の項では、研究の構想・デザイン、データの取得・分析・解釈、最終的な論文の執筆・作成にどのように実質的に寄与したかを具体的に記述してください。

ウ 教職課程科目担当予定者は、学術著書および、学術論文について、活字業績に対応する「担当授業科目名」を記載してください。

◆ 様式2の3の記入に際しての留意点等

- (1) 「科学研究費補助金等競争的資金の獲得状況」には、科学研究費補助金、財団等の研究助成金等、競争的資金の獲得状況を記入してください。なお、書類の作成時において未採択のものは記入できません。
- (2) 「研究課題名（研究課題番号）」の項について  
ア 競争的資金を獲得した研究課題名を、時系列的に通し番号を付して記入してください。  
イ 研究課題番号がある場合、課題名に続けて（ ）に記入してください。
- (3) 「代表・分担の別」の項について  
ア 当該研究課題の研究代表者である場合には「代表」と、共同研究の研究分担者である場合には「分担」と記入してください。  
イ 分担の場合、「分担」とし、（ ）内に研究代表者の氏名を記入してください。
- (4) 「獲得期間」の項には、当該資金を獲得した期間を記入してください。
- (5) 「資金元、資金名、種目等」の項には、当該資金の資金元、資金名を記入してください。科学研究費補助金については、種目も記入してください。

以上